

3 - 8 房総南部地方の地殻変動

Crustal Movement in the Southern Part of Boso Peninsula

国土地理院地殻調査部・鹿野山測地観測所

Crustal Dynamics Department and Kanozan Geodetic Observatory,
Geographical Survey Institute

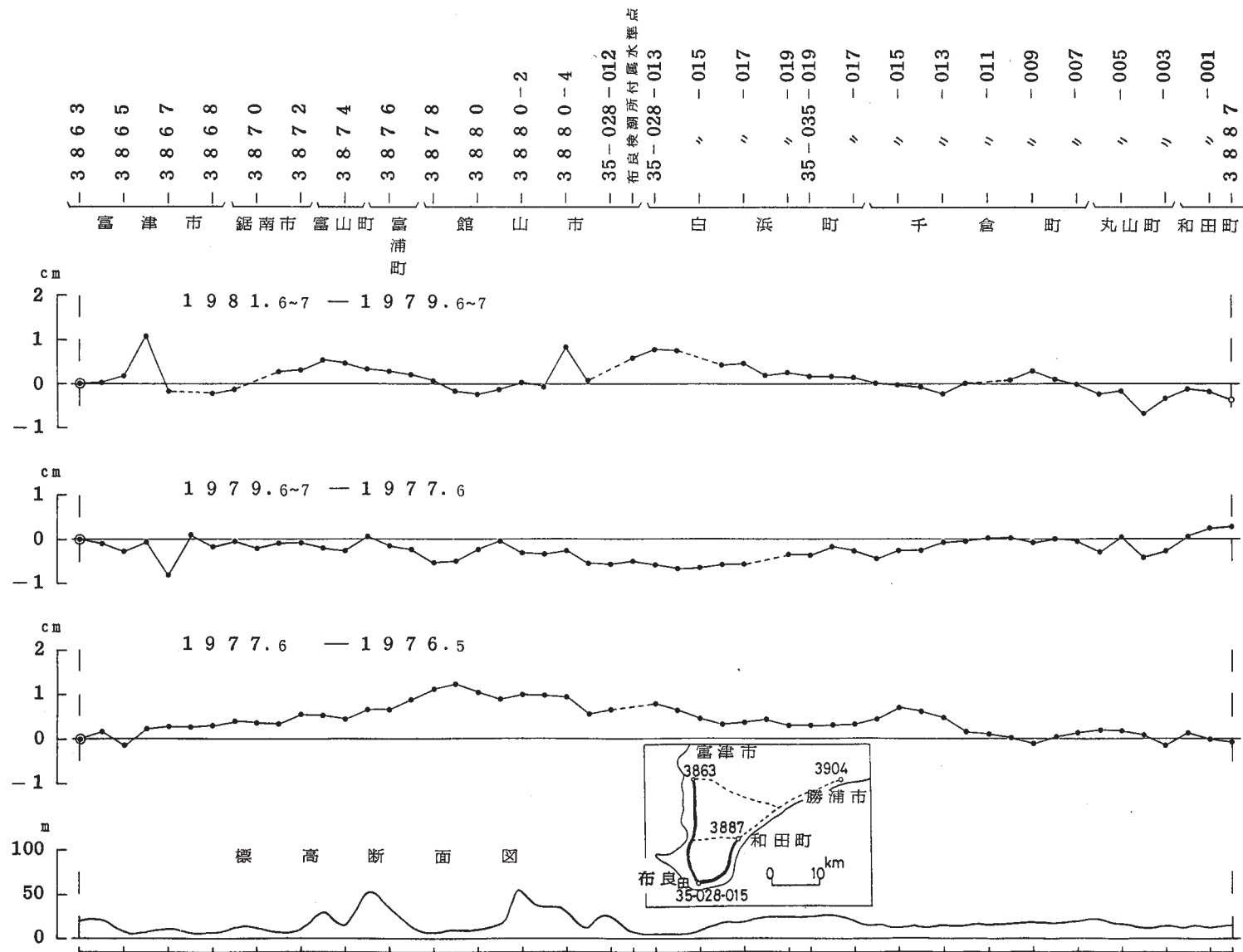
房総半島南部の水準測量を1981年6月～7月に実施したので、最近2年間（1981年6～7月～1979年6月）の変動結果について報告する。

第1図は、富津市から白浜町を經由して和田町に至る路線の上下変動図である。最近2年間には変動は認められない。第2図は館山市から和田町を經由して勝浦験潮場に至る路線の上下変動図で前回（1979.6,7～1977.6）と逆の傾向を示している。第3図は富津市から鴨川市に至る路線の上下変動図で、前回と逆の傾向を示している。第4図に布良－勝浦、布良－油壺験潮場間の月平均潮位差を示す。各験潮場間で特に有意な変動は認められない。第5図に最近2年間の房総半島南部の上下変動（等量線図）を示す。この結果から、布良、勝浦が隆起の傾向を示しているが、これは水準測量の環閉合差によるものと思われ、前回¹⁾2年間の等量線図と逆な変動を示しているので見かけの変動であろう。

第6図に鹿野山放射基線測量結果を示す。1972年以降の測距値の経年変化の傾向は、関東南部精密変歪測量結果²⁾と一致する。観測値の標準偏差（S.D.）は、おおむね $\pm 1 \times 10^{-6}$ である。

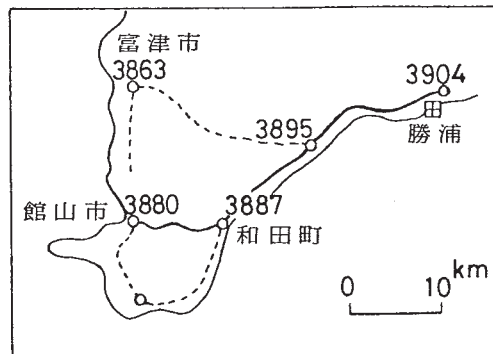
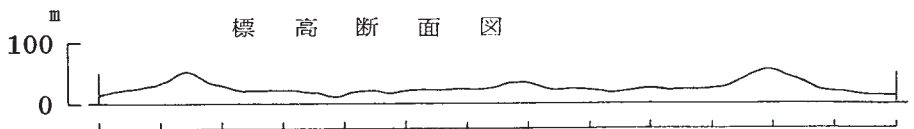
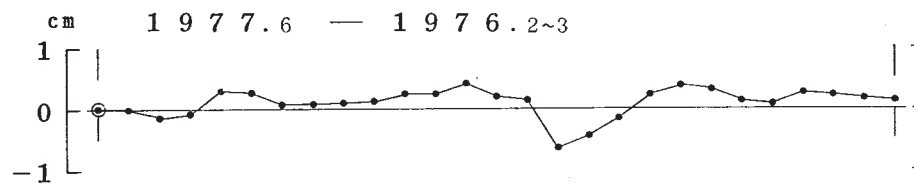
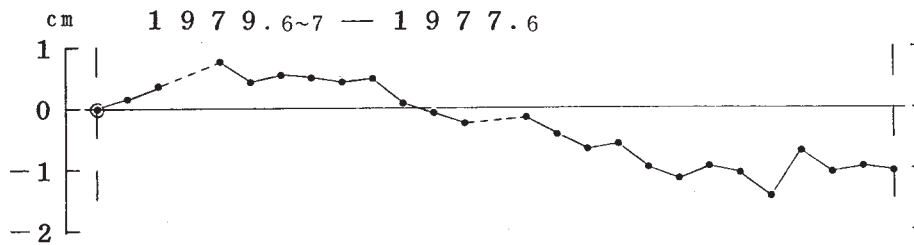
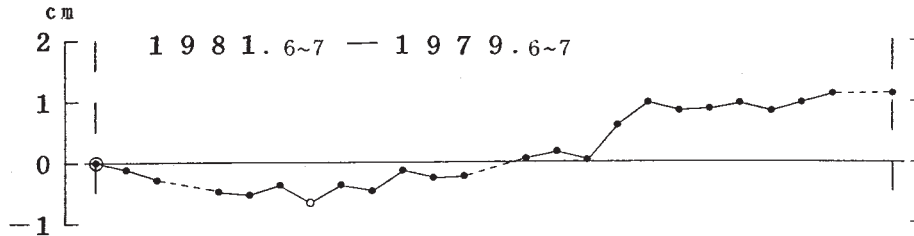
参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部：房総半島南部の上下変動，連絡会報，**23**（1980），22～25.
- 2) 国土地理院地殻活動調査室・測地部：連絡会報，**8**（1972），23～26.



第1図 富津～白浜～和田間の上下変動
 Fig.1 Vertical movements between Futtsu and Wada.

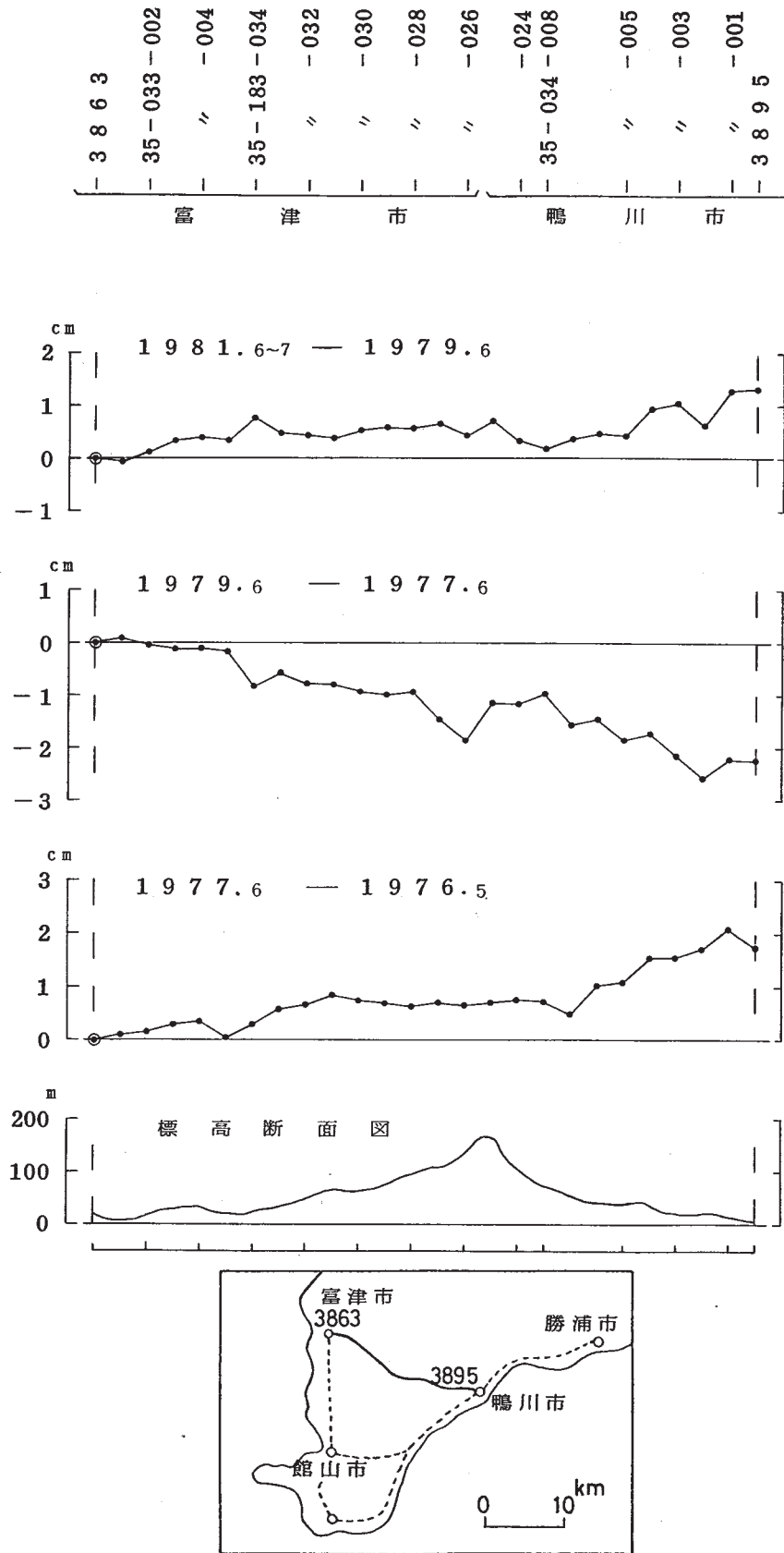
3880	3882	3884	3886	3888	3890	3892	3894	3896	3898	3900	3902-1	3904	勝浦 験潮場 付 20
館山市		丸 山 町	和田町		江	見	町	鴨 川 市	天津	小湊町		勝浦市	



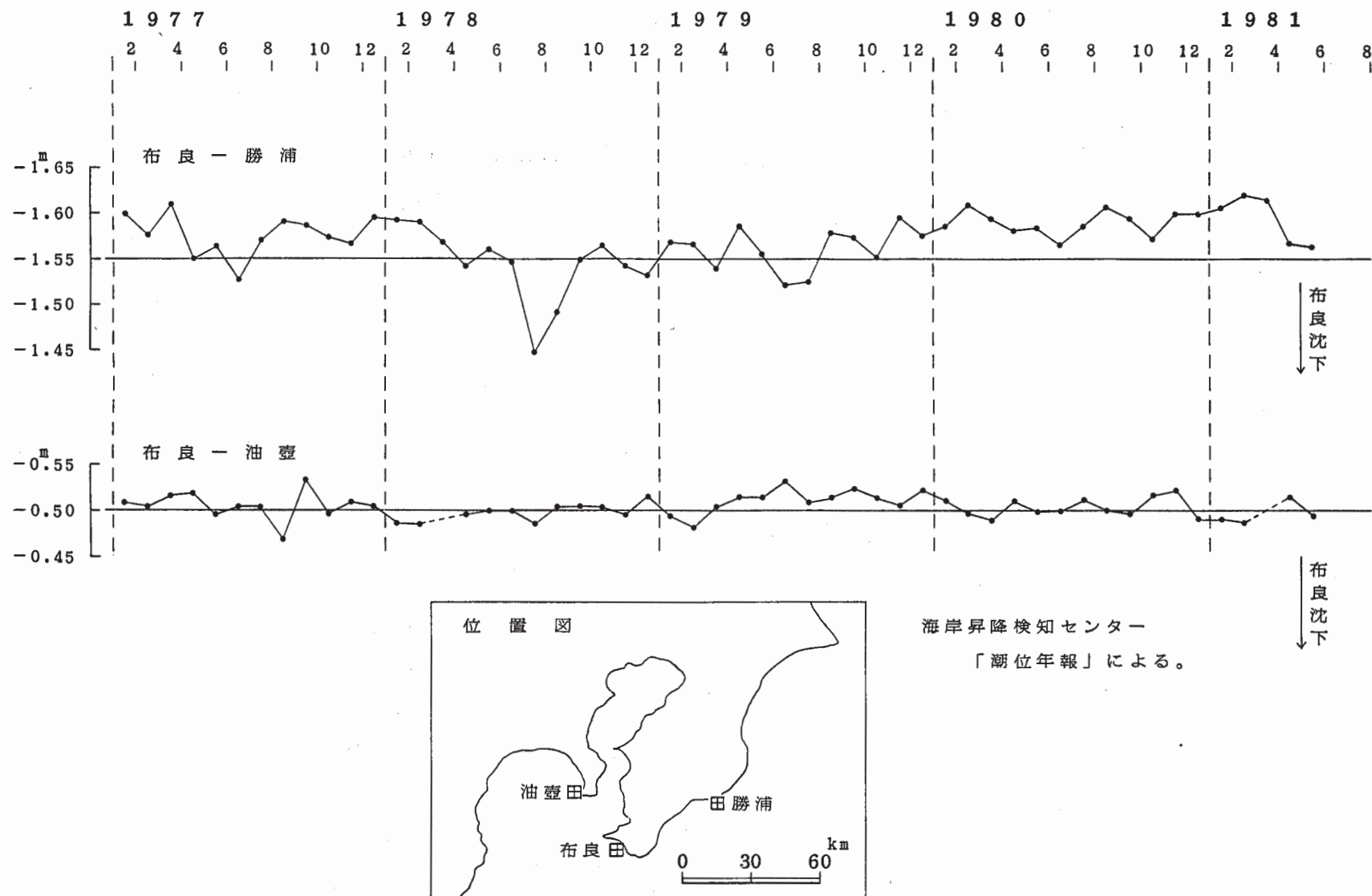
白ヌキは改埋点を示す。

第2図 館山～勝浦間の上下変動

Fig. 2 Vertical movements between Tateyama and Katsuura.

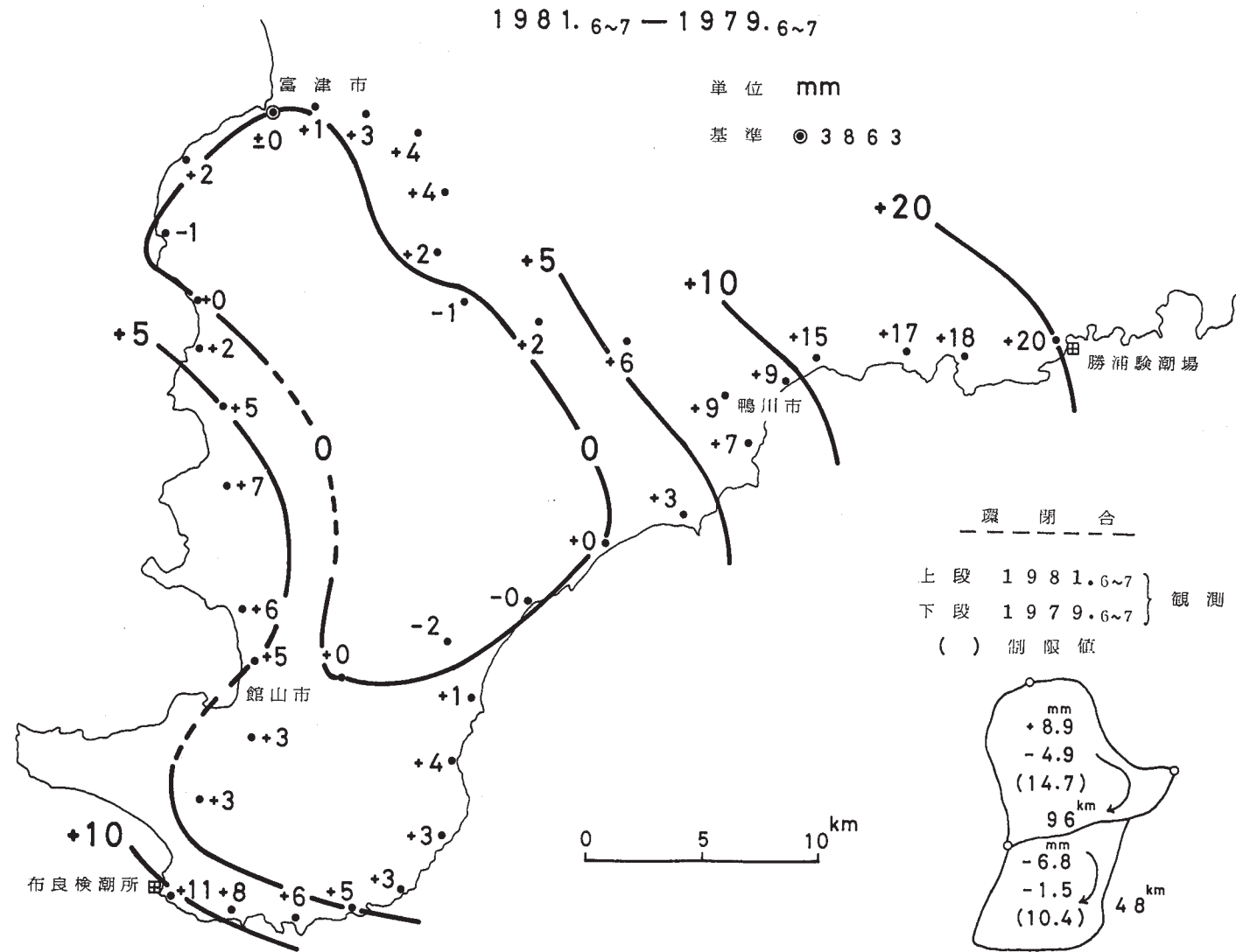


第3図 富津～鴨川間の上下変動
 Fig. 3 Vertical movements between Futtsu and Kamogawa.



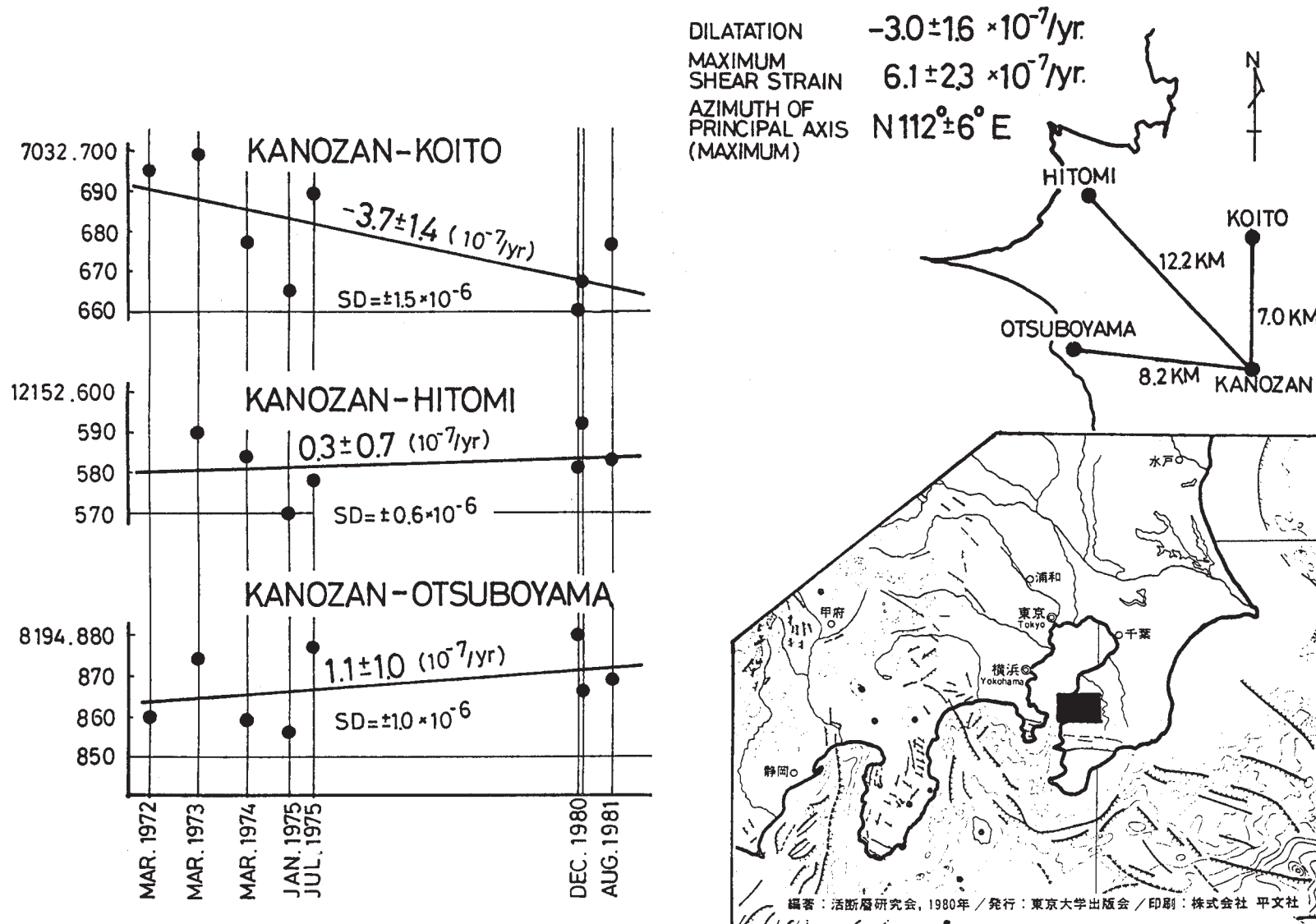
第4図 布良～勝浦，布良～油壺験潮場間の月平均潮位差

Fig. 4 Differences of monthly mean sea levels among tidal stations in Boso and Miura Peninsulas.



第5図 房総半島南部の上下変動（等量線図）

Fig. 5 Vertical movements in southern part of the Boso Peninsula (Contour map) (1981.6~7-1979.6~7).



第 6 図 鹿野山放射基線測量結果

Fig. 6 Survey results of the Kanozan Radial Base Lines.